

民報あばしり

NO.1371
6月26日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四二一四四五八
F 四二一四四五七

6月議会 村椿議員が一般質問

学校給食について

問 物価高騰の影響について伺う。
答 工夫して来たが、今年度から1食25円を値上げし、小学校は月額4275円、中学校5078円となっている。



問 地方創生臨時交付金を活用し、負担を減らす検討はしているか。
答 他市の状況も見ながら検討する。

子ども達が主役 おいしさの変化は

では？ 自校給食と同じか。
答 麺を茹で、水で絞めて、玉にして運搬。学校到着後につゆと麺を合わせる工夫をしている。

調理場によって方法も違い、自校給食とは一緒ではない。



2年ぶり リユース展開かれる

6月19日、北コミセンにて、リユース展が2年ぶりに行なわれました。

多くの市民が訪れ、不用品であった物が新品に近い状態になった自転車や家具などを見て応募をされていました。

ごみの分別クイズやア

温暖化対策について

問 網走市が今年策定する戦略（地域再生可能エネルギー導入戦略）においての地域新電力（あばしり電力）の位置付けは？
答 大きく関わることから、関係機関と協議しながら盛り込んでいく。

問 あばしり電力は太陽光パネルを増やしていくのか。
答 得られた利益は、脱炭素化に向けた取組にあてる計画。順調に進めば、事業拡大をしていく。

問 なぜFIT（固定価格買取制度）を採用しないのか。
答 この制度は市場に出ることから価格変動もある。安定した電力を供給するためにFIT制度は採用せずに、電力の地産地消をすすめる。

アンケート、子ども向けに風鈴の絵付け、最終処分場のペットボトルや包装プラスチックの固まりの展示物もあり、市民がゴミや環境について触れる企画となりました。
外では生ごみ堆肥を配布していました。



松浦春樹モリ



第2回定例会が23日に閉会となりますが、私の一般質問は22日でもしれません。
す。参院選の公示日で党の仲間たちは、ポスター張りなどで忙しくしている最中に、私が質問しているかもしれない。

今回の質問は、①物価高騰への対応では、急激な物価高騰による市民への影響、肥料高騰による農業者への影響、中小・零細企業、飲食業等への影響、低所得世帯への対応について

②インボイス制度では、消費税の納税方式とインボイス制度、シルバー人材センターへの影響、農業者の機械利用組合への影響、

③生活保護制度では、生活保護受給世帯の動向、「生活保護は国民の権利」の周知徹底、通院等の交通費支給の現状とあり方についての3項目です。

どれもが、物価高騰によりひっ迫した問題です。暮らしを守るためにも大事な課題なので、市民目線で問題を質します。

村椿 駆ける

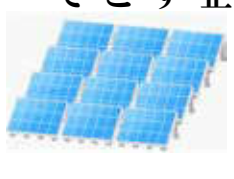


潮見コミセンの第2駐車場をあばしり電力に無償貸し付けすることに決まりました。

利用者への影響は少ないと言いますが、心配です。

太陽光パネルや蓄電池を設置し、電力の地産地消。公共施設とNGKオホツクの電気をあばしり電力に切り替え、太陽光パネルを増やす。その収入で利益が出ると、蓄電池やパネルをさらに設置する。工事を地元の企業が請け負えば、新たな雇用も生まれる。本場にこんなことができるのか信じられません。が、儲けをため込まなければ可能だと思えます。

内部留保に課税をして、その分で中小企業支援。グリーン投資と賃上げ分を控除する案は、企業も検討すると思います。今こそ、賃上げと温暖化ストップの道へ進んで行きたい。



流水

5月の中ごろから夜も昼も「ジョッピン・ジョッピン・カケタカ」と聞きなせるはつきりした大きな鳴き声の鳥がいます。全長18cmの鶯色をしたスズメより大きな鳥です。名前は、エゾセンニュウです。この他にシマセンニュウ（全長・15・5cm）、マキノセンニュウ（全長・12cm）が北海道に夏鳥としてやってきます。繁殖もします。▼原生花園にこのセンニュウたちはいます。潜入（または、仙人）というように草やぶに潜って営巣したり生活します。オスが縄張りを宣言するときは草の高みで囀ります。その時が姿を見られるチャンスです。

▼シマセンニュウは、チツ、チュルル、チイチュイチュイチュイで囀り飛翔をします。またマキノセンニュウは、虫の音に似たチリリリリリ...、リユリユリユリユリ...と長く鳴きます。▼この鳥たちは、スズメ目センニュウ科センニュウ属の仲間です。なお、エゾセンニュウは、私の近辺の森でも鳴き声を聞くことができます。道南にいるホトトギスの鳴き声にも似ていると言われます。



博物館の会会員 小森